

アンケート(第2回) 集計結果

--武田との第2回住民対話を終えて--

武田問題対策連絡会

人 人

- 1 新研究所の進出について、今のあなたのお気持ちに最も近いのはどれですか？ (複数回答可以下同じ)
- | | | | |
|---|--|----|----|
| 1 | 不安はない -----> | 4 | |
| | 武田は信用できる会社であり、間違いをおこすとは思われないから。 | | 3 |
| 2 | 不安は多少あるが、受容すべきだ。 -----> | 2 | |
| | 武田は日本の法例を遵守するといっているから。 | | |
| | 武田は日本の法例を遵守のみならず、世界的にみてもリスクを最小限にする技術的努力をする筈だから。 | | 1 |
| | 武田は安全確保にかかる条例制定、住民との安全協定締結に協力的と思うから。 | | 1 |
| 3 | 不安は、全く解消されていない。 -----> | 31 | |
| | 武田の説明は肝心のところで具体性を欠き、我々が不安を払拭する最小限の手掛かりすら与えないから。 | | 17 |
| | 武田の今までの対応は、不誠実で、スローガンの「タケダイズム(=誠実)」を反映したものではなく、今後それが改まるとは考えられないから。 | | 14 |
| | 我々の不安を解消するため、武田側が完全に説明しきることは、所詮不可能で、武田自身もそれを完璧にやり得る自信がないとおもわれるから。 | | 14 |
| | 総計-----> | 37 | |
- 2 新研究所の建設について
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--|
| 1 | 武田の計画通り、きたる4月15日の建築着工を認めてよい。 -----> | 5 | |
|---|-------------------------------------|---|--|

武田は信用できる会社だから。 2

松沢県知事が誘致し、海老根藤沢市長もその方向での
努力を就任時の施政方針演説で言明しているから。 2

県のアセス審査が終了しているから。

2 建設着工は延期すべきである。-----> 9

武田側が安全の立証についてその責任を十分果たし、
住民の不安感を払拭するまで。 8

公害等調整委での調停が成立するまで。 2

3 武田は当地への進出を諦め、建設計画を撤回すべき
である。-----> 26

本プロジェクトは、「大気汚染」、「水質汚濁」、「悪
臭」などの典型的な公害を伴い、住民に多大の迷惑を
かけるから。 18

上記に加え、病原体漏出の「現実的可能性」を否定
することは不可能であり、それは住民の「受容性」の
限度を遥かに超えるので。 20

当地は大病院にもろに隣接、感染抵抗力の弱い小中学
校、老人ホームが集中している人口稠密地であり、研
究所立地としては最悪の立地であるから。 21

当地の周辺は丘が多くみられる地形で、そのため大気
温度の逆転が起きやすく、研究所の排気が長く周辺住
居地域に滞留し続ける可能性も否定できないから。 16

3 武田問題対策連絡会の今後の活動についてのご意見

これ以上武田との対話を繰り返しても無意味であり、
連絡会は「進出断固反対」の意思を明確にすべきであ
る。 10

連絡会は、前回よりも、もっと大断固に署名活動（目
標レベル--数万人）をはじめ街頭活動を行うべきであ
る。 21

連絡会は、訴訟に訴えても、進出計画を撤回させるべ
きである。 18

連絡会は、公害調停のほかに、訴訟に訴えてでも断固
進出計画を撤回させるべきである。 22

連絡会は、武田の会社としての姿勢を明らかにするた
めに、本プロジェクトについての唯2人の代表権者すな
わち会長、社長のいずれかの方から、本件の取り扱い
についての姿勢を直接質す必要がある。 14

○ あなたのご住所は？

鎌倉市	19
藤沢市	12
横浜市	1
その他	1
無記入	4

○ 回答者数計-----> 37

○ 回答者のご意見

○ 武田の工事は、絶対に反対です。 住所（藤沢市）

○ 絶対反対です。 住所（無記入）

○ 不安です。なんとかありませんか。 住所（鎌倉市）

○ セーフティゾーン0メートル、つまりありません。住宅密集地すぎる。なんとかしてこんなところに建てさせない為には、兎に角頑張るより他ない。 住所（藤沢市）

○ 説明を聴いて、安心よりも不安がつのりました。そもそも、これだけ大規模の施設を住宅地に作る必要があるのか。焼却施設をつける必要があるのか。 住所（鎌倉市）

○ 今回の前半では多くの質問事項の回答が後日書面でとなっている。第3回を横浜でおこなってきちんと説明させるべき。

p3での炭素菌、鳥インフルエンザ他を扱う場合には、住民の了解を取るプロセスをきちんと定めておくべきである。 住所（藤沢市）

○ 第1回対話集会にも参加しましたが、相変わらずのタケダ側の不誠実な態度にうんざりです。

集会には高齢者も多く、ほとんどの参加者は専門的知識を持ち合わせていません。その人々を相手に専門用語を多用する説明は大変不親切です。本当に「安全だ」と言うのならシロウトにも分かるように、「ああこれで安心した」と胸をなでおろせるような納得のいく説明をすべきです。

震えながら(何でかな?)説明するタケダ社員さんも、仕事とは言えご苦労なことだとおもいます。新研究所開発で大もうけする社長、副社長にお出まし願ったほうが良いのではないですか？

連絡会のみなさん、調停受理されて本当によかったです。ありがとうございました。今後、署名活動や街頭宣伝などの際もお手伝いします。

頑張りましょう。！ 住所（藤沢市）

○ 武田側は何が何でも建設したいのが見え見えです。周囲に及ぼす影響は何も考えないのでしょうか？全く常識の欠如したエリート会社だと思います。非常識のエリート集団です。こんなことで将来性はあるのでしょうか。

お先マックラです。日本人の良識は何処へ行ってしまったのでしょうか。なりふりかまわない利益追求は国を駄目にするとおもいます。 住所（鎌倉市）

- 私も含めて、（武田の事業内容を）よく知らない人がたくさんいると思います。行政も知らせない内に、どさくさにまぎれて進んでいるように感じます。

武田のえらい方達に、家族・お孫さん達と、研究所近くに住んでいただきたいと思います。

（資料の用紙はもう少し安い紙にした方がよいと思います。） 住所（藤沢市）

- 安全・安心の面からもタケダと住民代表と安全協定を結ぶべきだと思います。 住所（鎌倉市）

- 住民との協定を具体的に取決め開示することが必要、100%の安全性は絶対確保できるの前提で予防策を！ 住所（鎌倉市）

- 武田薬品とはこれからも平行線だと思う。排水を受け入れる大清水～鵜沼の住民、排気と焼却ガスを被る村岡～鎌倉川の住民が、それぞれ、最新式焼却炉にする、排水は自己処理にする等の署名を集めて市長や市議会に提案し、行政を動かす、これが重要と思う。 住所（鎌倉市）

- 想定しない（できない）ヒューマン・エラーが起りうることを考え、最悪の事態を避けるためには、あらかじめ地域住民との共同体制を組んで訓練を重ねる必要がある。この事を武田の経営者に理解してもらいたい。住所（藤沢市）

- 環境アセスに対する質問はダメ。対話-->相手の話を聞いて初めて成り立つはず。

不安をあおることばかり考えずに、どの様にすれば受け入れられるのか、条件を明確にするべきただただ反対しているだけで聞く耳をもたない姿勢しかみえない。

病院の感染源の封じ込めが問題にならず、病原性微生物を扱わぬタケダが問題になる理由が不明。 住所（鎌倉市）

- 連絡会の2人目の質問者の方の質問の仕方が悪い。質問を単純化しすぎて、タケダの意見を強引に封じている印象をあたえる。あれでは初めて聞いた人はアンフェアな悪印象を与えかねない。ただ時間的に余裕が無い点については大いに理解するところです。 住所（鎌倉市）

- 武田は連絡会の求めに応じてキチンと話し合いに応じている。そういう中であって行政に請求に行ったり訴えたりするのは、極めてひきょうである。そういうことをするのであれば、話し合いは、一から無意味である。みっともない、はずかしいとは思わないのか。

次回の話し合いでは、はじめにこの問題について説明して欲しい。住所（その他）

- 08-12-24(?)植木公会堂での説明会の折、武田・竹中工務店側から「問題になった点を整理して、協議書に反映する」旨ありました。これはどうなりましたか？ 住所（鎌倉市）

以上